



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社Faber Company

上場取引所 東

コード番号 220A URL <https://www.fabercompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 稲次 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 安藤 弘哲

TEL 03 (5545) 5230

半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,365	8.5	157	△22.3	161	△20.6	108	△21.5
2025年9月期中間期	1,259	9.0	203	5.7	203	7.2	138	13.5

（注）包括利益 2026年9月期中間期 69百万円（△50.3%） 2025年9月期中間期 139百万円（14.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	39.64	-
2025年9月期中間期	50.77	-

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	2,937	2,387	80.9
2025年9月期	2,879	2,381	82.7

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 2,375百万円 2025年9月期 2,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2026年9月期	-	0.00	-	-	-
2026年9月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,817	10.0	300	△20.2	306	△19.3	210	△20.1	76.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) XINOBIX株式会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	3,000,000株	2025年9月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	253,500株	2025年9月期	260,000株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	2,742,036株	2025年9月期中間期	2,726,519株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、本決算短信とあわせて、四半期決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(連結範囲の重要な変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(企業結合等関係)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果もあり、国内経済は緩やかに回復しております。一方で、中東情勢や金融資本市場の変動影響などもあり、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開を行うデジタルマーケティング関連市場は、企業の旺盛な投資意欲を背景に、引き続き堅調な推移となりました。特に生成AIの利活用には注目が集まっており、人間とAIの共存共栄を図るためにも、人材の確保や育成、再教育(リスキリング)がますます重要になると考えております。

このような経営環境のもと、当社グループは営業力の強化による顧客基盤の拡大等を通じ、堅調な業績にて推移しました。

(単位：千円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	1,259,085	1,365,602	106,516	8.5
売上総利益	862,895	938,269	75,373	8.7
販売費及び一般管理費	659,669	780,402	120,732	18.3
営業利益	203,226	157,867	△45,359	△22.3
経常利益	203,237	161,401	△41,836	△20.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	138,424	108,706	△29,717	△21.5

セグメントごとの経営成績は、以下の通りであります。

当社グループは、当中間連結会計期間より、従来の「ミエルカ事業」の単一セグメントから、「ミエルカ事業」、「ディストリビューション事業」の2区分に変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

(ミエルカ事業)

ミエルカ事業は、豊富なサービスラインナップにより企業のデジタルマーケティング活動のワンストップソリューションを目指し、デジタルマーケティングの生産性を向上させる自動化ツールとして、企業のWebサイトへの流入最大化を支援する「ミエルカSEO」、AI検索時代のデジタルマーケティングを支援する「ミエルカGEO」、UI/UX改善によるコンバージョンの最大化を支援する「ミエルカヒートマップ」、Googleマップ等を用いた店舗集客を最大化する「ローカルミエルカ」、即戦力となるフリーランス又は副業のデジタルマーケティング人材を企業に提供する「ミエルカコネクト」、特に高い専門性が求められる課題に対する支援を行うソリューションサービス等を提供しております。

当中間連結会計期間では、生成AIに関連する機能面・サービス面の改善に加え、大手・中堅企業への組織的な販売活動、既存顧客へのクロスセルに注力した結果、ミエルカ事業の売上高は1,360,170千円、営業利益は236,383千円となりました。

(ディストリビューション事業)

ディストリビューション事業は、当社がミエルカ事業を通じて培ってきたマーケティング力を基盤としながら、外部パートナーが有するバックオフィス系サービスの販売支援・流通を行う「DXミエルカ」を提供しております。

当中間連結会計期間では、採用費を中心とした先行投資を行い、今後の収益機会の創出に向けた体制構築を優先した結果、ディストリビューション事業の売上高は5,432千円となり、営業損失は78,515千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(単位：千円)

	前連結会計年度	当中間 連結会計期間	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,458,324	2,502,261	44,025	1.8
固定資産	421,536	434,945	13,408	3.2
資産合計	2,879,861	2,937,206	57,345	2.0
流動負債	495,322	539,343	44,021	8.9
固定負債	2,767	10,392	7,625	275.5
負債合計	498,089	549,735	51,646	10.4
純資産合計	2,381,771	2,387,470	5,698	0.2

- ・流動資産は、現金及び預金の減少46,342千円、売掛金の増加43,630千円等により合計44,025千円増加。
- ・固定資産は、のれんの増加51,097千円、繰延税金資産の増加23,765千円、上場有価証券の時価評価等に伴う投資有価証券の減少65,810千円等により合計13,408千円増加。
- ・流動負債は、未払金の増加48,654千円、前受金の増加18,904千円、未払法人税等の減少19,883千円等により合計44,021千円増加。
- ・固定負債は、長期借入金の増加7,625千円により合計7,625千円増加。
- ・純資産合計は、その他有価証券評価差額金の減少43,044千円、利益剰余金の増加26,506千円、非支配株主持分の増加12,221千円等により合計5,698千円増加。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2026年9月期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124,496	2,078,154
売掛金	250,095	293,726
その他	83,807	130,467
貸倒引当金	△76	△88
流動資産合計	2,458,324	2,502,261
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	3,623	7,658
有形固定資産合計	3,623	7,658
無形固定資産		
ソフトウェア	322	414
のれん	64,314	115,411
無形固定資産合計	64,636	115,825
投資その他の資産		
投資有価証券	301,082	235,272
繰延税金資産	11,468	35,234
その他	41,779	40,953
貸倒引当金	△1,053	—
投資その他の資産合計	353,276	311,460
固定資産合計	421,536	434,945
資産合計	2,879,861	2,937,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,316	64,813
未払金	84,570	133,225
未払法人税等	76,300	56,417
前受金	147,524	166,429
その他	123,609	118,457
流動負債合計	495,322	539,343
固定負債		
長期借入金	—	7,625
繰延税金負債	2,767	2,767
固定負債合計	2,767	10,392
負債合計	498,089	549,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	248,828	254,100
利益剰余金	2,088,541	2,115,048
自己株式	△50,388	△49,128
株主資本合計	2,386,981	2,420,020
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,189	5,671
その他有価証券評価差額金	△7,399	△50,444
その他の包括利益累計額合計	△5,209	△44,772
非支配株主持分	—	12,221
純資産合計	2,381,771	2,387,470
負債純資産合計	2,879,861	2,937,206

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,259,085	1,365,602
売上原価	396,190	427,333
売上総利益	862,895	938,269
販売費及び一般管理費	659,669	780,402
営業利益	203,226	157,867
営業外収益		
受取利息	63	823
受取配当金	—	2,947
その他	112	141
営業外収益合計	176	3,912
営業外費用		
為替差損	164	377
営業外費用合計	164	377
経常利益	203,237	161,401
税金等調整前中間純利益	203,237	161,401
法人税、住民税及び事業税	64,813	52,694
法人税等合計	64,813	52,694
中間純利益	138,424	108,706
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	138,424	108,706

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	138,424	108,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△43,044
為替換算調整勘定	682	3,481
その他の包括利益合計	682	△39,562
中間包括利益	139,107	69,144
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	139,107	69,144
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	203,237	161,401
減価償却費	1,140	1,984
のれん償却額	1,461	4,385
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	△1,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,650	—
受取利息及び受取配当金	△63	△3,770
売上債権の増減額(△は増加)	△21,560	△7,427
仕入債務の増減額(△は減少)	6,895	1,497
その他	△64,976	△7,436
小計	130,814	149,533
利息及び配当金の受取額	63	3,770
法人税等の支払額	△28,167	△76,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,711	77,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△585	△4,864
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
敷金の差入による支出	△1,925	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58,237	△38,418
非連結子会社出資金の払込による支出	—	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,748	△44,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△82,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△82,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	581	3,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,544	△46,342
現金及び現金同等物の期首残高	2,298,508	2,124,496
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,316,053	2,078,154

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、XINOBIX株式会社を株式の取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、当中間連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書計上額 (注)
	ミエルカ事業	ディストリビュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,360,170	5,432	1,365,602	—	1,365,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,360,170	5,432	1,365,602	—	1,365,602
セグメント利益又は損失(△)	236,383	△78,515	157,867	—	157,867

(注)セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より「ディストリビューション事業」の重要性が増したことから、従来の「ミエルカ事業」の単一セグメントから、「ミエルカ事業」、「ディストリビューション事業」の2区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 XINOBIX株式会社

事業の内容 コンテンツマーケティング支援事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、デジタルマーケティングを通じた企業の目標達成、事業成長、ビジネス変革の支援を目的として、「ミエルカSEO」等、デジタルマーケティングの生産性を向上させる自動化ツール群、及びデジタルマーケティングに関する多様で複雑な課題を解決するリソース群(人材・コンサルティング)の提供を行っております。

当社とXINOBIX株式会社は、従来よりコンテンツ制作業務において継続的な取引関係にあり、XINOBIX株式会社の持つ専門性および制作体制について高い評価を行ってまいりました。今般、XINOBIX株式会社をグループに迎えることで、外注コストの内製化による収益性の向上に加え、当社のデジタルマーケティングの知見とXINOBIX株式会社の制作力をより強固に融合させ、サービス付加価値のさらなる向上を期待できることから、株式を取得し、連結子会社化することにいたしました。

(3) 企業結合日

2026年3月31日(株式取得日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

70%

(7) 取得した議決権比率

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しているため、中間連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

相手方の意向により、非開示とさせていただきます。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 2,000千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

55,482千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

9年にわたる均等償却